

仕様書

- 1 手術台 MOT-VS600Dj は以下の要件を満たすと判断されること。
 - 1-1 テーブルトップの寸法は、長さ 2,000mm～2,200mm×幅 500mm～550mm の範囲内であること。
 - 1-2 ベースの寸法は、長さ 1,000mm～1,200mm×幅 450mm ～500mm の範囲内であること。
 - 1-3 昇降範囲は、床面から最高位 1,000mm 以上、最低位 600mm 以下であること。
 - 1-4 縦転角度は、頭上がり 30° 以上、頭下がり 40° 以上であること。
 - 1-5 横転角度は、左右各 35° 以上であること。
 - 1-6 背板屈折角度は、上がり 90° 以上、下がり 40° 以上であること。
 - 1-7 テーブルトップの最大スライド量は、頭方向 250mm 以上、脚方向 400mm 以上であること。
 - 1-8 縦転、横転及び背板屈折時に、自動で水平復帰する機能を有すること。
 - 1-9 許容作動荷重は、350Kg 以上であること。
 - 1-10 本体は移動式であり、四輪キャスターを本体下部に有すること。
 - 1-11 ブレーキは 4 点式で、固定又は解除する機能を有すること。
 - 1-12 本体質量は、400Kg 以下であること。
 - 1-13 緊急時に備え、緊急停止スイッチを装備していること。
 - 1-14 操作ボックスの不具合に備え、予備スイッチを装備していること。
 - 1-15 患者を動かすことなくレントゲン撮影がおこなえるカセット格納枠を有していること。
 - 1-16 上肢台は体圧分散マットを使用した場合などに、手術台マットとの段差をなくすためにも、高さ調整ができマット付属であること。また差込軸には抜け落ち防止のネジを付属しているものであること。
 - 1-17 上腕骨顆上骨折用上肢台は、円筒枕部分が X 線透過性であり、関節を付けて固定位置を自由に調整できるものであること。
 - 1-18 側部支持器は球関節と菊座の組み合わせで術野に邪魔にならない位置で体位保持ができ、パッド自体の寸法は 187×65 (mm) であること。
 - 1-19 腰板両端のサイドレールに腰部を延長できるボードを有し、専用のマットおよびレントゲン撮影が行えるカセット格納枠を有していること。
 - 1-20 脚板側に背板側取付用アクセサリを取付可能にするアダプターを有し、専用のマットおよびレントゲン撮影が行えるカセット格納枠を有していること。
 - 1-21 患者の背部または脚部を支持する為のエクス線透過性の高いボードおよび専用のマットを有していること。
 - 1-22 エクス線透過性の高いボードに固定し、他の手術台アクセサリを取り付ける為のアタッチメントを有していること。
 - 1-23 頭部全体で固定し、頸への余分な負担を軽減するヘッドサポーターを有していること。

- 1-24 手術台のレールに取付け、手術台の縦転・横転の角度を計測することができるものを有していること。
- 1-25 背板の頭部板差込孔に操作ボックス等を掛けれるよう、専用のヘッドサイドレールを有していること。
- 1-26 患者の体位を保持するための抑制帯は、洗浄しても繊維の毛羽立ちが少なく、幅 120mm、長さ 1990mm のものであること。
- 1-27 患者の体位と上肢を保持するための抑制帯は、洗浄しても繊維の毛羽立ちが少なく、幅 120mm、長さ 900mm のものであること。
- 1-28 体圧分散性を補助するマットレスは両面使用可能であること。